



第1459回例会 2017年4月4日(火) 12:30 開会点鐘 番伊にて

ロータリーソング「奉仕の理想」「ロータリアンの行動規範」唱和

年男会員卓話 木村 静夫 会員

◎4月度のお祝い発表

〈会員誕生日〉	〈ご夫人誕生日〉
4日 木村静夫さん	5日 今井みち江さん
	7日 浜田 未来さん
	17日 山田真由美さん
	25日 姥浦寿美江さん
〈結婚記念日〉	
4日 今井富夫・みち江 ご夫妻	
19日 大森幸弘・京子 ご夫妻	
25日 鳥畑 弘・和子 ご夫妻	
29日 多田計介・則子 ご夫妻	
おめでとうございます!!	

か。「ありがとう」は「あり難い」「あることが難しい」ことで、ある意味、奇跡に近いことを指しています。その反対語として、考えるとそれは「あたりまえ」ということになります。普段、あたりまえだと思っていることも、もしかして、それが奇跡的なことなのかもしれないと、感じた日となりました。  
 本日もたくさんの出席ありがとうございます。

◎幹事報告 寺田 幹事  
 「七つ尾」第34号、クラブに3冊届いています。  
 ご購入希望者は事務局まで(1冊1,000円)

◎出席報告 浜田 出席小委員長  
 会員総数49名(内、出席規定適用の免除者4名)出席者33名

第1458回例会(3/28)報告  
 進行：中越 SAA

◎開会点鐘

◎会長挨拶 戸田 会長

本日のゲストは、七尾市産業部観光交流課課長 楠利勝 様です。先日実施されました「能登和倉万葉の里マラソン」について卓話をさせていただきます。よろしくをお願いします。

さて、今週日曜日は大相撲で奇跡的な逆転劇があり、日本中が湧きました。99%無理であろうと誰もが思っていた中での優勝でしたので、勝負は最後まであきらめてはいけなと、改めて感じさせられました。そして大変感動もしました。また、同日七尾みなとRCのグリーン会でも、本人には失礼ですが、中越会員のお嬢さんが優勝したのも、奇跡に近いものを感じました。  
 以前、「ありがとう・感謝」の反対語は何ですか？と聞いたことがありますが、覚えていますでしょう

◎ニコニコ箱紹介 木村 ニコニコ箱管理小委員長  
 戸田 徐々に春めいてきましたね。楠課長さん本日はよろしくをお願いします。

山田 観光交流課長楠様、ようこそ七尾みなとRCへ、今日は卓話ごくろうさまです!!

中越・西野・森・姥浦敏明・間蔵・井田・久保・寺田・岡崎・長 楠課長卓話ごくろうさま。七尾に元気を出す産業部観光交流課長としてのお話し楽しみにしています。

高橋 コンペで4位と半端な順位にして頂きまして有難うございます。もっと練習して次回は3位をめざします。

中野 私は前回のコンペで準優勝しました。次回は金メダルを取ります。私を買ってください。

グリーン会より 次回は4/16、皆さん振ってご参加下さい。

3/28日計 22,450円 累計 959,150円

月	日	曜	プログラム	週報担当
4	4	火	年男会員卓話 木村 静夫 会員	中野
4	11	火	18:30 炉辺夜間例会 (ゆけむりの宿美湾荘) 送迎バスは、18:00に七尾商工会議所前出発	魚岸
4	18	火	クラブフォーラム 多田次年度会長テーマ・方針発表 臨時総会	今井
4	25	火	ゲスト 桑原母と子クリニック 院長 桑原 崇 氏	多田
5	2	火	例会取消④	-

会 長	戸田 一明
副 会 長	森 仁志
副 会 長	鳥畑 弘
幹 事	寺田 彰
広報ニューメンバーズ委員長	今井 富夫

創立1986年6月15日  
 RI認証1986年6月26日  
 【国内第1721】



◎ゲスト卓話『能登和倉万葉の里マラソンについて』

七尾市観光交流課長 楠 利勝 氏

1. 2017大会の概要 (大会の特徴など)

- (1) 開催日 2017(平成 29年)年 3月 12日(日)  
フルマラソン 午前 10時スタート
- (2) コース 日本陸上競技連盟公認コース(フルマラソン)  
(和倉温泉湯つ足りパーク前～和倉温泉観光会館前)
- (3) 参加費 フルマラソン 7千円、10 km 4千円、  
親子ペア 3千円
- (4) 参加賞 スポーツグッズ、つみれ汁引換券、  
金券 500円分、簡易合羽
- (5) 臨時駐車場 21箇所(4,600台分)、  
シャトルバス 35台運行
- (6) エイドステーション 12か所  
(+スタート(新)、フィニッシュ)  
・給水: アミノバリュー、水、温ま菜茶(8～11)、  
りんごジュース(12)  
・給食: ぶりフレークにぎり・のとじま菜っぱめし(5)、  
能登マ井(7)、おかゆ(9)、  
梅細巻・あんぱん・ちくわ(10)  
塩、飴、チョコ、果物
- (7) ホスピタリティ(おもてなしの心)あふれる人に  
やさしい取組み  
・制限時間 7時間と参加しやすい大会  
・1 kmごとの距離表示看板の設置  
・のぼり坂の表示(11分のいくつ)  
・フィニッシュ時の声かけ「〇〇市の〇〇さん、  
おかえりなさい」
- (8) 多数のボランティア  
市職員除き、56団体・事業所 1,114名  
・市内中学校、高等学校、専門学校、小中学校教職員  
・商工会議所、商工会、七尾 RC、七尾みなと RC、  
中島 RC、田鶴浜ライオンズクラブ、青年会議所、  
能登島観光協会  
・体育協会等スポーツ系、女性団体、  
食生活改善推進協議会、町会連合会  
・北陸電力、のと共栄信用金庫、J A能登わかば、  
J R西日本、J P労組  
・石川県柔道整復師会(スポーツケア)  
・市内の太鼓保存会 など
- (9) イベント広場 つみれ汁引換、殻つき牡蠣ほか  
飲食ブース
- (10) 和倉温泉旅館での有料入浴サービス(13旅館)
- (11) 気象 午前 10時現在、天候晴れ、気温 5.8度、  
北北西の風 1.5m
- (12) 参加者数等

	申込者数	当日参加者数	完走者数	完走率
フルマラソン	5,152人	4,484人	4,355人	97.1%
10 km	2,022人	1,749人	1,749人	—
親子ペア	418人	372人	372人	—
計	7,592人	6,605人	6,476人	—

(13) 総合成績(優勝者)

- ・フルマラソン男子 一花 建(七尾市)
- ・フルマラソン女子 林 由希乃(愛知県)
- ・10 km男子 福田裕大(金沢市・七尾市出身)
- ・10 km女子 はざま恵美(富山県)
- ・親子ペア 西村彰範・彰馬(中能登町)

2. 大会の成り立ちとこれまで

- ・1988年(昭和 63年)から中島町として「なかじま万葉の里マラソン in 牡蠣フェスティバル」としてハーフマラソンと牡蠣フェスティバルを行っており、2004年の市町合併後も引き続き開催(2008年(平成 20年)21回で発展的解消)
- ・2004年(平成 16年)10月 1日の 4市町合併に伴い、新市地域住民の一体感を図ることができるようなシンボリック取組みを模索。
- ・市議会での質問や、七尾市体育協会サイドからの提案もあり、なかじま万葉の里マラソンを新たなフルマラソンの大会として開催できないか検討。
- ・能登島大橋とツインブリッジのと、2つの橋を渡り、旧七尾市～旧能登島町～旧中島町～旧田鶴浜町の 4市町全てを経由する七尾西湾一周コースで検討。
- ・2007年(平成 19年)3月 25日の能登半島地震による被災を踏まえ、合併後の新市地域住民の一体感の醸成という目的に加え、能登半島地震からの復興に向けてというテーマが付け加わる。
- ・なかじま万葉の里マラソンは 2,000人程度に減少していたことから、開催にあたりより多くの参加者を集めることができるよう、地方で 1万人程度の参加者を集めている事例(いびがわマラソン、福知山マラソン)と、都市型タイプの長野マラソンを視察。
- ・参加者の増加を図るため、また、陸上競技関係団体の協力を確かなものとするため、日本陸上競技連盟の公認コースを取得
- ・大会の運営にあたっては、合併後の地域住民の一体感を図るという観点から、多くの市民に参画してもらわなければならないということから、広く各種団体などに運営スタッフとしてボランティア参画を依頼(市職員は原則全員参画)
- ・2009年(平成 21年)3月 8日(日)、ホスピタリティ(おもてなしの心)あふれる大会として、第 1回大会を開催(天候:晴れ、ゲスト:磯繁雄さん、渡辺康幸さん、市河麻由美さん、ダンディ坂野さん)し、
- ・7時間の制限時間、1キロごとの距離表示看板、登坂数の看板(11)、適切なエイドステーションの数(11)などが、参加者から高評価。
- ・ランナーの最後尾を走る車のドライバーとして参加、7時間は長かったが、田鶴浜から中島にかけて城山山系の向こうに立山連邦が見えて感動。
- ・2010(平成 22年)年 3月 7日(日)第 2回大会(天候:小雨、ゲスト:瀬古利彦さん、市橋有里さん)では、35団体・事業所から 1,020名のボランティア参加(七尾みなとロータリークラブ初参加)、エイドを 12か所とし名物「能登マ井」が登場。
- ・2011年(平成 23年)3月 13日(日)第 3回大会(天候:晴れ、ゲスト:宗茂さん、市河麻由美さん)
- ・2011年(平成 23年)3月 11日(金)東日本大震災が発生し甚大な被害の中、同日開催の名古屋ウイメンズマラソンは早々の中止決定。



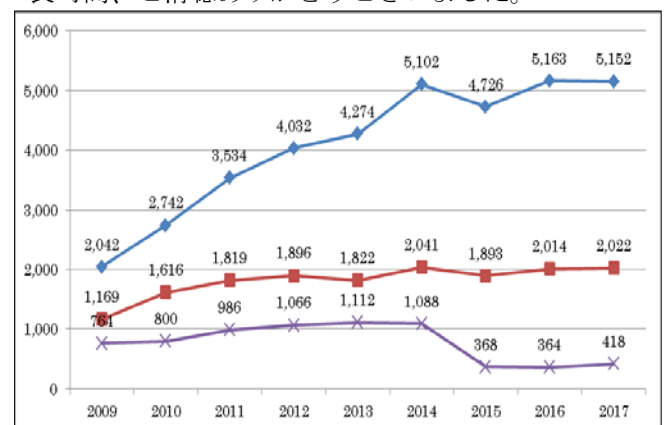
- ・前日の土曜日は、津波到来の可能性もゼロではない中、朝から問合せや苦情対応に追われたが、協議の結果「東北地方太平洋沖地震復興祈念マラソン」として開催することを決定（スタート前に看板設置、全ランナーに黒リボンを配布）
- ・2012年3月11日(日)恐怖の第4回大会（天候：晴れのち吹雪、ゲスト：市河麻由美さん）
- ・気温6.2度、快晴のもとでスタートが切られたが、14時以降は急激に気温も低下して猛吹雪となり、経験の浅い薄着のランナーは次々とリタイヤ。
- ・リタイヤしたランナーをゴール地点まで運ぶ車も不足し、雨ざらしでバスを待つランナーたちは低体温症を発症、ランナーが運ばれてくる和倉温泉観光会館は、さながら野戦病院と化した。
- ・救護車のドライバーとして参加、他の救護車がランナーの救護・搬送に出動した関係で最後尾を追走、雪の中バスを待つリタイヤしたランナーに申し訳なく思いつつ素通りを繰り返す
- ・これを踏まえ、第5回大会以降は収容車両を強化するとともに、コース上の集会所等を借り受け、選手避難所(11か所)を設置
- ・2013年3月10日(日)第5回大会（天候：雨のち晴れ、ゲスト：中山竹通さん）
- ・2014年3月23日(日)第6回大会（天候：晴れ、ゲスト：なし）は、フルマラソン5,102人、10km2,041人といずれも初めて5千人、2千人を超え、合計8,529人のエントリー者数
- ・イベント会場をあえの風駐車場から和倉温泉ヨットハーバーに変更
- ・2015年3月15日(日)第7回大会（天候：晴れ）、会場や臨時駐車場の容量も考慮し、年々参加者数が減ってきていた5kmと、親子ペアのうち前回大会で転倒事故があった低学年の部を廃止。
- ・2016年3月13日(日)第8回大会（天候：晴れ）、ナンバーカードと計測チップは、前日・当日受付において引換えを行っていたが、多数のスタッフを要すること、当日スタート前の会場が混雑することなどから、ナンバーカード等一式を事前に参加者宅に送付、また、参加賞についても、殻つき牡蠣現物5個から金券500円に変更し、イベント会場における飲食の自由度を確保。
- ・2017年3月12日(日)第9回大会（天候：晴れ）、新たにスタート給水所の設置、能登島エリア駐車場の廃止と矢田新第一埠頭・県有地駐車場の設置(和倉インターチェンジ、能登島公園線の渋滞緩和)

### 3 大会の現在とこれから

- ・9回の大会を重ねる中で、みなとRCをはじめとしてボランティアとして参画していただいている多数の市民の方々、またランナーとして参加して大会を盛り上げている市民の方々、さらに交通規制などご不便を受け入れていただいている市民の方々、市民ぐるみで

支えていただいている大会。

- ・雑誌「ランナーズ」を発行している会社が運営するポータルサイト「ランネット」において、ランナーが選ぶ「全国ランニング100選」に第1回大会から第8回大会(2016大会)まで8回連続で選出。
- ・同じく「ランネット」の中で参加者がそれぞれの大会を評価し、コメント等を書き込む「大会レポート」でも高い評価。
- ・昨年2016大会は、わずか75件の書き込みであったが、2017大会では今日現在324件もの書き込み。
- ・中には厳しいご指摘もあり、出来る事について今後の大会に活かしていくものであるが、その中でも、太鼓や吹奏楽をはじめとする沿道での応援や、エイドステーションでの励ましの言葉などは総じて高い評価。
- ・12か所のエイドステーションの間隔は、スタートと第1エイド間が4.9キロ、第1エイドと第2エイド間は5.7キロあるが、だんだん短くなり、後半のエイドの間隔はだいたい2キロ前後で設定。
- ・エイドステーションは、その名のとおりランナーを手助けする場所であり、疲れたランナーを勇気づけ、力づけることから後半のエイドは重要。
- ・七尾みなとRCさんに担っていただいている最終第12エイドは10km種目のエイドも兼ねていることから、拘束時間も長く申し訳なく感じるが、ランナーにとっては最後の力を振り絞ってフィニッシュに向かう残り2キロの地点であり最重要ポイントともいえる場所。
- ・エイドステーションに対するランナーの評価が高いということは、皆様の対応が素晴らしいということであり、改めて感謝。
- ・改めて、50を超える団体1,000人を超える皆様の献身的なお支えがあつてはじめて成り立っている大会であり、第10回大会の開催も既に決定していることから、今後とも能登和倉万葉の里マラソンにご理解とご協力をお願い申し上げます、説明を終了。
- ・長時間、ご清聴ありがとうございました。



申込者数(第1回～9回)

◎閉会点鐘

〔週報担当：山田外志勝〕

#### 次週予告

4月11日(火) 18:30開会点鐘 ゆけむりの宿美湾荘

炉辺夜間例会(花見例会を兼ねて)

送迎バスは18:00七尾商工会議所前出発

今週の例会担当者： 浜田、伊藤、徳永、中出、宮川、今井徹

次週の例会担当者： 田中、佐味貴義、長田、木下徳泰、杉藤